NTT東日本 関東病院

NTT Medical Center Tokyo

肝胆膵内科

五反田膵癌連携プロジェクト

地域連携で膵癌の早期発見へ　— 高リスク患者さんの定期フォローと迅速な精密検査を行います —

膵癌は早期発見が難しい一方、早期診断・早期治療が予後改善の鍵です。
地域の先生方と連携し、膵癌を疑うサインや高リスク所見を認めた患者さんに対して、
MRI/MRCP・EUSを活用した精査と継続フォローを行います。

このような患者さんをご紹介ください

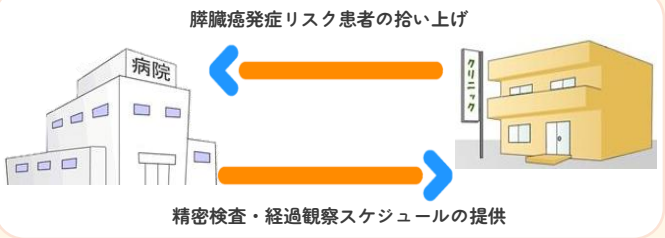
- 膵のう胞、膵管拡張、膵石灰化、慢性膵炎などの画像所見がある方
- 新規糖尿病・急な増悪、原因不明の腹痛や背部痛、体重減少などを認める方
- 膵酵素異常、CA19-9・Span-1・Dupan-2など腫瘍マーカー異常がある方
- 膵癌の家族歴、遺伝性疾患、喫煙・飲酒・肥満などの背景を有する方

当院で行うこと

- リスクに応じた検査スケジュールの提案と継続フォロー
- MRI/MRCP、EUSによる精密検査
- 必要時の迅速な追加精査と、肝胆膵内科・外科・腫瘍内科による治療連携
- EUSは年間1000件以上の症例を扱う体制で対応

受診の流れ

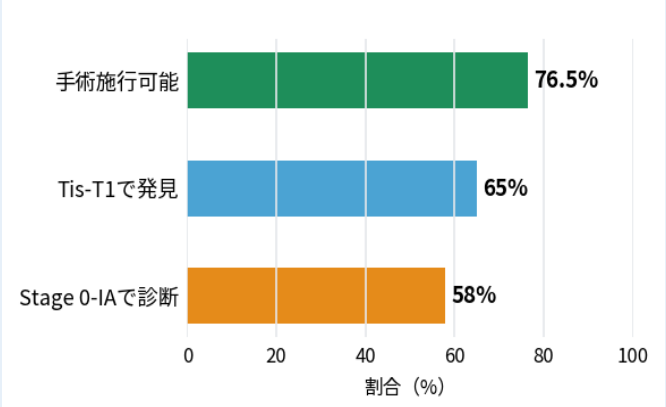
1. 紹介状をご準備のうえ、肝胆膵内科 外来へご紹介ください。
2. 当院でMRI/MRCP・EUSなど必要な精査を実施します。
3. 結果をご報告し以後のフォローまたは治療へつなげます。



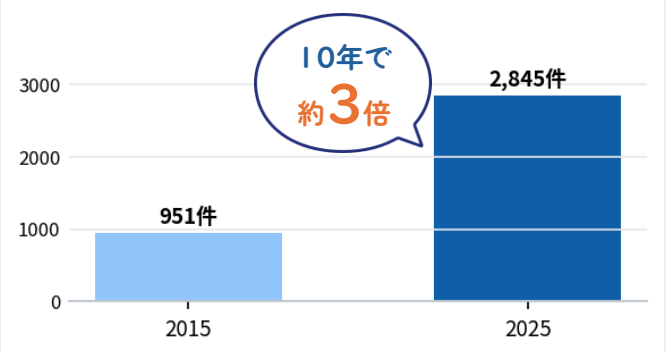
院内データから見えるプロジェクトの意義

高リスク患者さんの囲い込みと地域連携により、
膵癌診断例の半数以上をStage 0-IAで捉え、
約4分の3が手術施行可能でした。

● 高リスク群フォローから見えた成果



● MRCP件数



当院のMRCP撮像件数は10年で約3倍（951件→2,845件）に増加しており、病診連携の重要性が高まっています。

お問い合わせ・ご紹介先

NTT東日本関東病院　肝胆膵内科（胆膵グループ）
担当責任者：藤田 祐司　／
外来：月～金曜日 午前（連日 膵臓専門医が担当）
医療連携室：03-3448-6192
※緊急受診が必要な場合は医療連携室へご連絡ください。

五反田膵癌連携プロジェクト案内ページ



こちらから

https://www.nmct.ntt-east.co.jp/medical_personnel/gotanda_pancreatic_renkei/